

(資料2)

虐待相談処理等の全国と東京都の比較

1、虐待の相談処理件数の推移

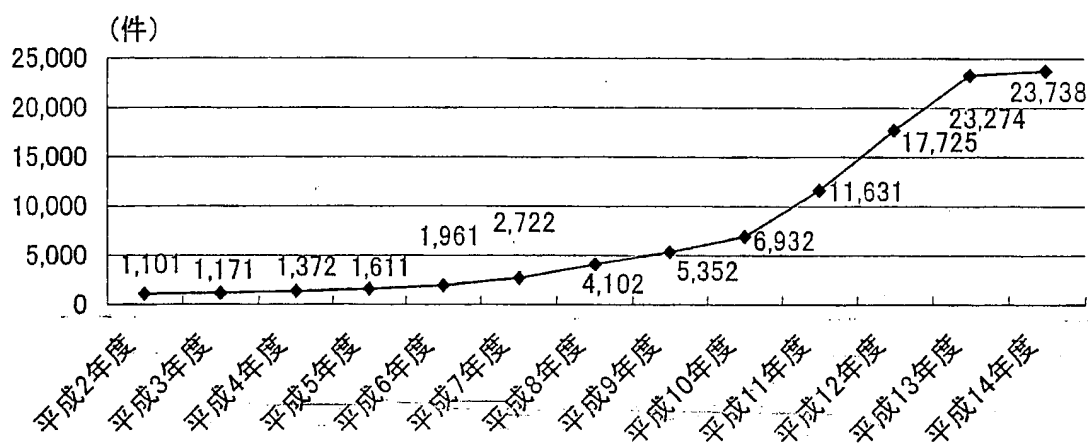
平成14年度に児童相談所で処理した児童虐待相談件数は、全国では23,738件で前年度に比べると若干の増加にとどまり伸び率が鈍化した。

東京都においては、1,802件と前年度に比べて微減している。これは市区町村が児童子ども支援センターなどで転る虐待の相談の受けざらになっていること、虐待防止に向けた取組が定着してきたことでも一因と考えられる。

1-1 全国の相談処理件数の推移と伸び率

平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
1,101	1,171	1,372	1,611	1,961	2,722	4,102	5,352	6,932	11,631	17,725	23,274	23,738
(1)	(1.06)	(1.25)	(1.46)	(1.78)	(2.47)	(3.73)	(4.86)	(6.3)	(10.56)	(16.1)	(21.13)	(21.56)

(注) 下段()内は、平成2年度を1とした指数(伸び率)である。

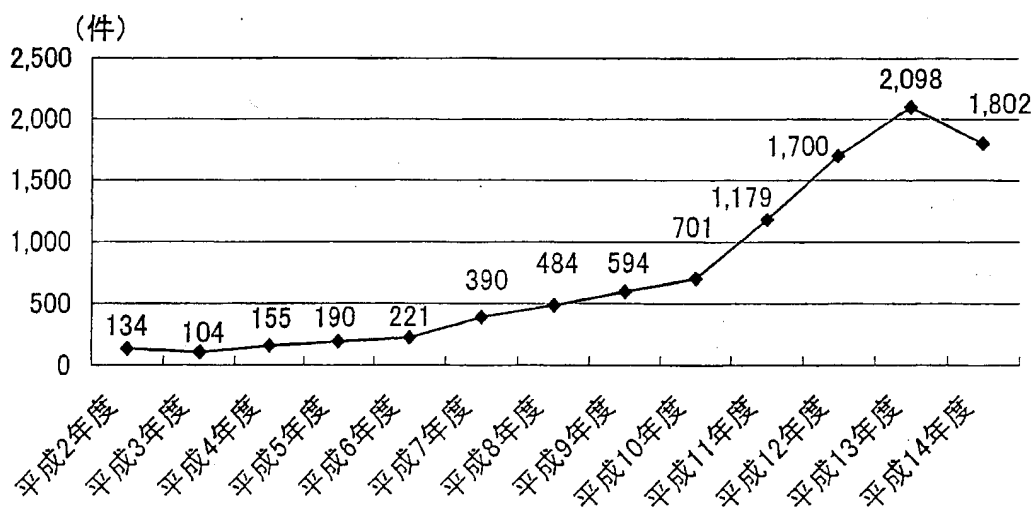


1-2 東京の相談処理件数の推移と伸び率

平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
134	104	155	190	221	390	484	594	701	1,179	1,700	2,098	1,802
(1)	(0.78)	(1.16)	(1.41)	(1.65)	(2.91)	(3.61)	(4.43)	(5.23)	(8.8)	(12.9)	(8.8)	(13.4)
			5	13	82	79	101	128	150	201	192	230

(注) 中段()内は、平成2年度を1とした指数(伸び率)である。

下段は電話相談件数の再掲(平成5年度～)。



2、虐待の相談経路別処理件数

児童相談所に寄せられる虐待相談の経路をみると、全国では家族、福祉事務所、近隣・知人の順になっているが、東京都では近隣・知人、家族、学校の順になっている。なお東京都の虐待の電話相談では、家族、近隣・知人、児童本人になっている。

2-1 全国の虐待相談経路別処理件数

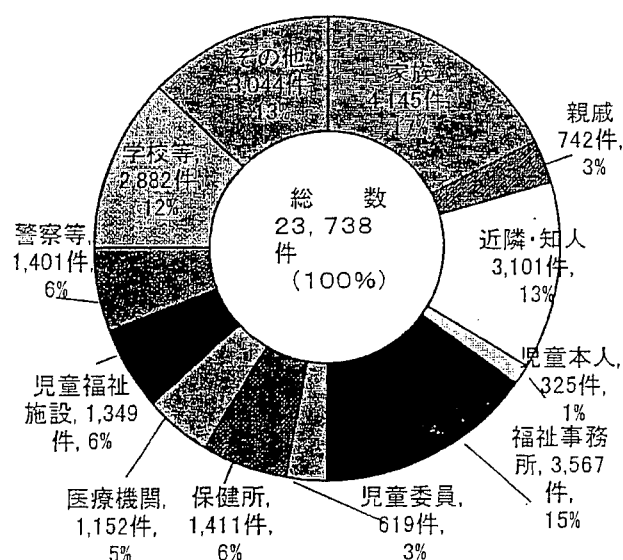
	総数	家族	親戚	近隣知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設	警察等	学校等	その他
12年度	17,725 100%	3,692 21%	544 3%	2,449 14%	294 2%	2,306 13%	467 3%	829 5%	799 5%	858 5%	1,109 6%	2,382 13%	1,996 11%
13年度	23,274 100%	4,077 18%	666 3%	3,312 14%	263 1%	3,266 14%	637 3%	1,223 5%	971 4%	1,290 6%	1,508 6%	3,025 13%	3,036 13%
14年度	23,738 100%	4,145 17%	742 3%	3,101 13%	325 1%	3,567 15%	619 3%	1,411 6%	1,152 5%	1,349 6%	1,401 6%	2,882 12%	3,044 13%

2-2 東京都の虐待相談経路別処理件数

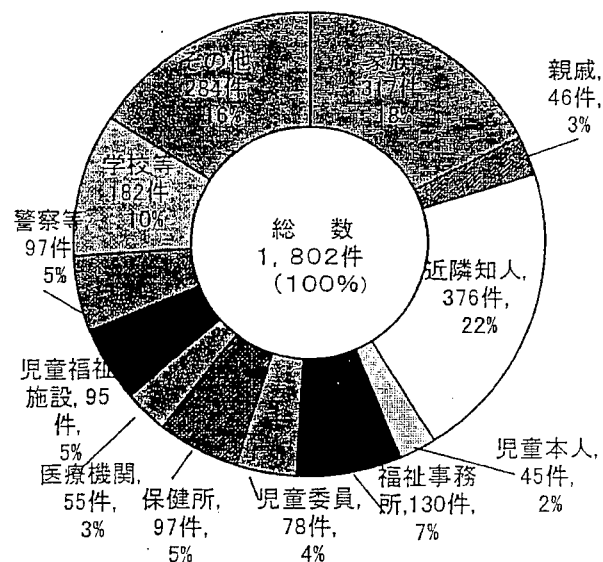
	総数	家族	親戚	近隣知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設	警察等	学校等	その他
12年度	1,700 100%	342 20%	32 2%	449 26%	43 3%	101 6%	63 4%	87 5%	52 3%	83 5%	81 5%	210 12%	157 9%
	201	99	7	57	16	1			2	1		17	1
13年度	2,098 100%	326 16%	33 2%	474 23%	28 1%	160 8%	103 5%	98 5%	66 3%	143 7%	148 7%	257 12%	262 12%
	192	108	9	51	5	3						11	5
14年度	1,802 100%	317 18%	46 3%	376 21%	45 2%	130 7%	78 4%	97 5%	55 3%	95 5%	97 5%	182 10%	284 16%
	230	118	17	55	18			1		1		7	13

注 下段は電話相談件数の再掲。

(全国:平成14年度)



(東京都:平成14年度)



3、主たる虐待者の属性

主たる虐待者の属性をみると全国も東京都も実母が最も多く、次いで実父となつて、割合も同じような傾向にある。養継父等が、全国6.7%、東京都5.9%となっている。世帯の属性を鑑みた時に高い割合を占めていると言える。

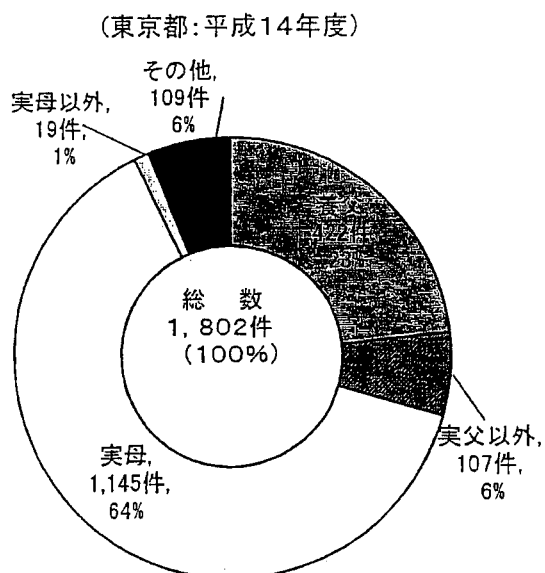
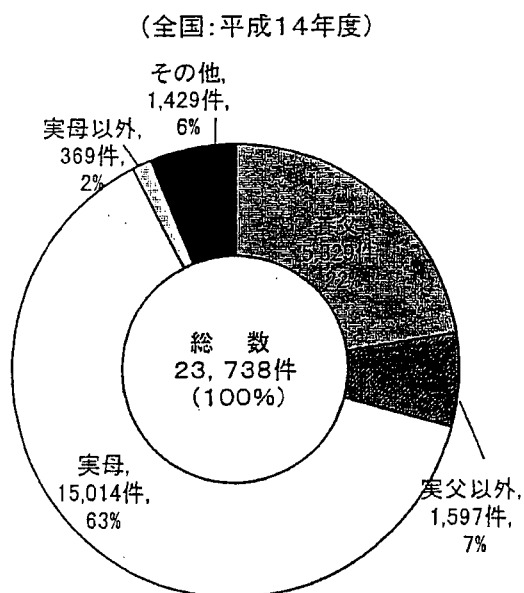
3-1 全国の主たる虐待者の属性

	総数	父		母		その他
		養父	実父以外	実母	実母以外	
12年度	17,725 100%	4,205 23.7%	1,194 6.7%	10,833 61.1%	311 1.8%	1,182 6.7%
13年度	23,274 100%	5,260 22.6%	1,491 6.4%	14,692 63.1%	336 1.4%	1,495 6.4%
14年度	23,738 100%	5,329 22.4%	1,597 6.7%	15,014 63.2%	369 1.6%	1,429 6.0%

3-2 東京都の主たる虐待者の属性

	総数	父		母		その他
		養父	実父以外	実母	実母以外	
12年度	1,700 100%	404 23.8%	97 5.7%	1,037 61.0%	26 1.5%	136 8.0%
13年度	2,098 100%	480 22.9%	129 6.1%	1,330 63.4%	21 1.0%	138 6.6%
14年度	1,802 100%	422 23.4%	107 5.9%	1,145 63.5%	19 1.1%	109 6.0%
	230	58	13	143	2	14

注 下段は電話相談件数の再掲。



4、虐待の相談の種類別相談件数

虐待相談の内容をみると全国、東京都とも身体的虐待が約半数を占め、次いでネグレクト、心理的虐待、性的虐待の順になっている。

4-1 全国の虐待相談横断の内容別件数

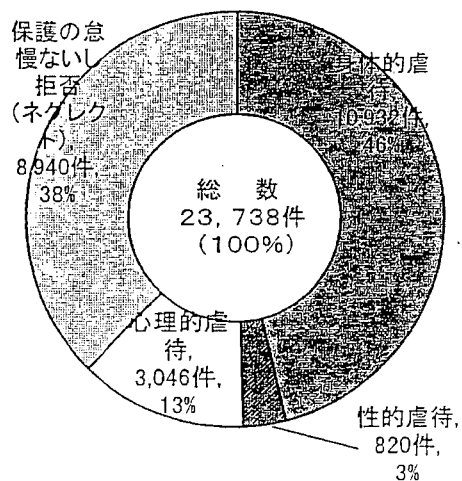
	総数	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	保護の怠慢 ないし拒否 (ネグレクト)
12年度	17,725 100%	8,877 50.1%	754 4.3%	1,776 10.0%	6,318 35.6%
13年度	23,274 100%	10,828 46.5%	778 3.3%	2,864 12.3%	8,804 37.8%
14年度	23,738 100%	10,932 46.1%	820 3.5%	3,046 12.8%	8,940 37.7%

4-2 東京都の虐待相談横断の内容別件数

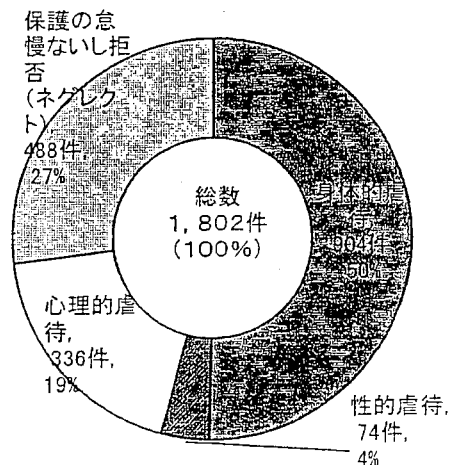
	総数	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	保護の怠慢 ないし拒否 (ネグレクト)
12年度	1,700 100%	933 54.9%	78 4.6%	250 14.7%	439 25.8%
	201	113	18	34	36
13年度	2,098 100%	1,000 47.7%	64 3.1%	414 19.7%	620 29.6%
	192	98	9	40	45
14年度	1,802 100%	904 50.2%	74 4.1%	336 18.6%	488 27.1%
	230	123	20	40	47

注 下段は電話相談件数の再掲。

(全国:平成14年度)



(東京都:平成14年度)



5、被虐待児童の年齢構成

虐待を受けた児童のうち、小学校に入学する前の年齢児童が全国で約半数、東京都で約4割を占めている。

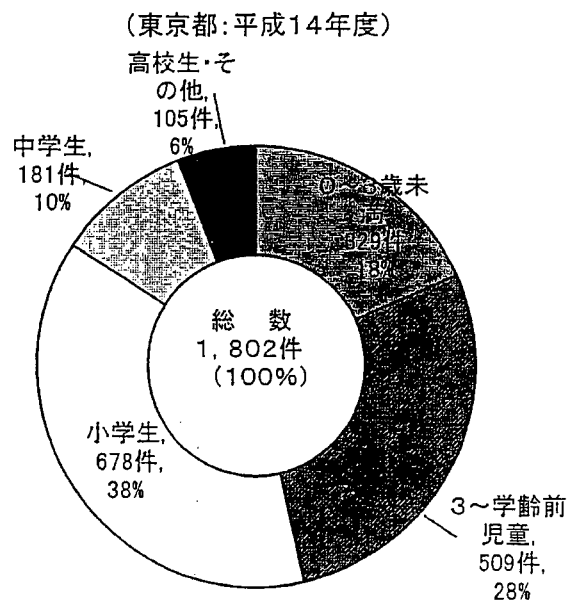
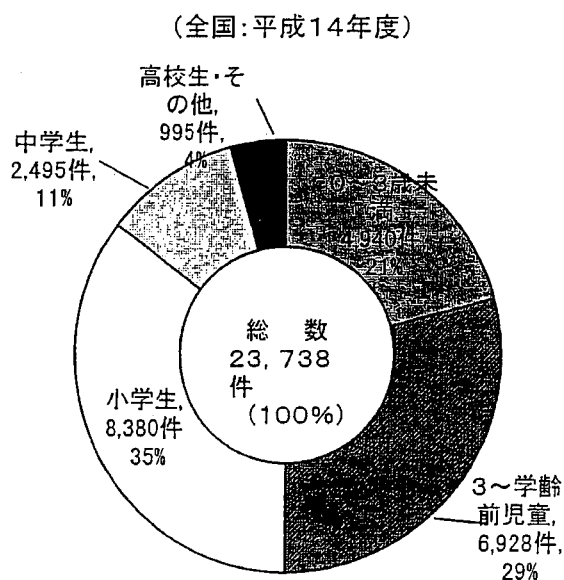
5-1 全国の被虐待児童の年齢

	総数	0～3歳未満	3～学齢前児童	小学生	中学生	高校生・その他
12年度	17,725 100%	3,522 19.9%	5,147 29.0%	6,235 35.2%	1,957 11.0%	864 4.9%
13年度	23,274 100%	4,748 20.4%	6,847 29.4%	8,337 35.8%	2,431 10.4%	911 3.9%
14年度	23,738 100%	4,940 20.8%	6,928 29.2%	8,380 35.3%	2,495 10.5%	995 4.2%

5-2 東京都の被虐待児童の年齢

	総数	0～3歳未満	3～学齢前児童	小学生	中学生	高校生・その他
12年度	1,700 100%	361 21.2%	471 27.7%	580 34.1%	169 9.9%	119 7.0%
	201	51	40	50	23	37
13年度	2,098 100%	394 18.8%	650 31.0%	780 37.2%	189 9.0%	85 4.1%
	192	32	54	81	12	13
14年度	1,802 100%	329 18.3%	509 28.2%	678 37.6%	181 10.0%	105 5.8%
	230	37	63	77	29	24

注 下段は電話相談件数の再掲。



6、虐待相談の相談結果（処理状況）

児童相談を受けた処理状況は、全国、東京都も面接指導が8割を占めている。虐待相談を受けた児童の約1割が施設入所している。

6-1 全国の虐待の相談の処理状況

	総数	施設入所	里親等委託	面接指導	その他
12年度	17,725 100%	2,527 14.3%	91 0.5%	13,596 76.7%	1,511 8.5%
13年度	23,310 100%	2,857 12.3%	149 0.6%	18,398 78.9%	1,906 8.2%
14年度	23,857 100%	2,698 11.3%	172 0.7%	19,118 80.1%	1,869 7.8%

（平成13年度からひとつの事例に対して複数の処理をした場合は複数計上とした。）

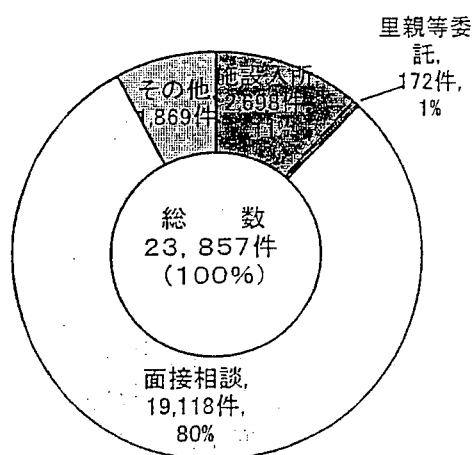
（その他は、児童委員指導、福祉事務所送致、訓戒・誓約など）

6-2 東京都の虐待の相談の処理状況

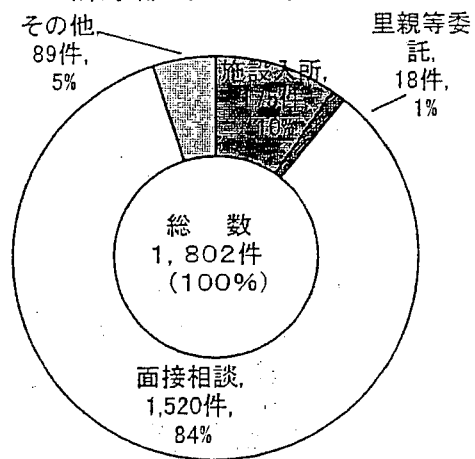
	総数	施設入所	里親等委託	面接指導	その他
12年度	1,700 100%	157 9.2%	8 0.5%	1,465 86.2%	70 4.1%
	201			201	
13年度	2,098 100%	212 10.1%	3 0.1%	1,809 86.2%	74 3.5%
	192			192	
14年度	1,802 100%	175 9.7%	18 1.0%	1,520 84.4%	89 4.9%
	230			230	

注 下段は電話相談件数の再掲。

（全国：平成14年度）



（東京都：平成14年度）



7、施設入所した児童の施設の種類（全国のみ）

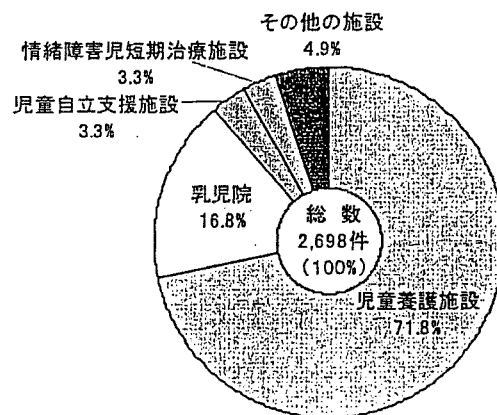
- 施設入所した2,698件のうち最も多いのは児童養護施設の1,936件（71.8%）であり、次いで乳児院の454件（16.8%）である。

（注）

児童養護施設は、乳児を除いて、保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせてその自立を支援することを目的とする施設である。（児童福祉法第41条）

乳児院は、乳児（保健上その他の理由により特に必要のある場合には、おおむね2歳未満の幼児を含む。）を入院させて、これを養育することを目的とする施設である。（児童福祉法第37条）

	平成12年度	平成13年度	平成14年度
児童養護施設	1,909 (75.5%)	2,053 (71.9%)	1,936 (71.8%)
乳児院	348 (13.8%)	491 (17.2%)	454 (16.8%)
児童自立支援施設	70 (2.8%)	80 (2.8%)	88 (3.3%)
情緒障害児短期治療施設	84 (3.3%)	97 (3.4%)	88 (3.3%)
その他の施設	116 (4.6%)	136 (4.8%)	132 (4.9%)
計	2,527 (100%)	2,857 (100%)	2,698 (100%)



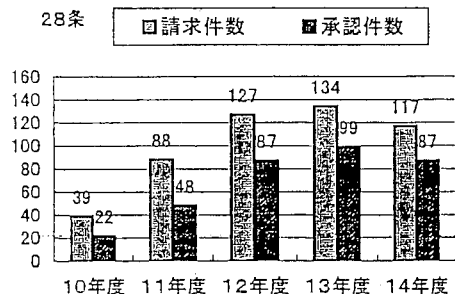
8、家庭裁判所の審判による施設入所（28条）と親権喪失宣告（33条の6）の請求件数と承認件数

児童福祉法第28条に基づく請求件数は、全国は平成12年度、東京都は平成11年度より急増している。

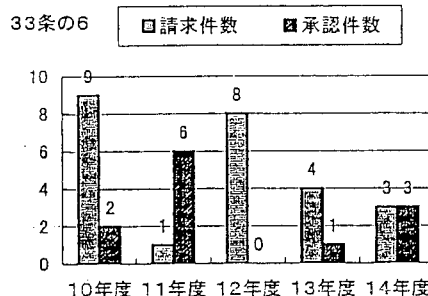
7-1 全国の28条・33条の6に基づく請求・承認件数

年度	事項	法28条による施設入	法33条の6による親
10年度	請求件数	39	9
	承認件数	22	2
11年度	請求件数	88	1
	承認件数	48	6
12年度	請求件数	127	8
	承認件数	87	0
13年度	請求件数	134	4
	承認件数	99	1
14年度	請求件数	117	3
	承認件数	87	3

28条



33条の6

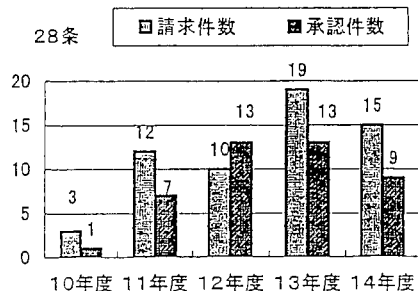


7-2 東京都の28条・33条の6に基づく請求・承認件数

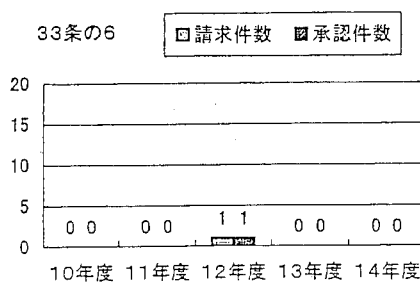
年度	事項	法28条による施設入 所措置の承認申立	法33条の6による親 権喪失宣告の請求
10年度	請求件数	3	—
	承認件数	1	—
11年度	請求件数	12	—
	承認件数	7	—
12年度	請求件数	10	1
	承認件数	13	0
13年度	請求件数	19	0
	承認件数	13	0
14年度	請求件数	15	0
	承認件数	9	1

（平成10年度、平成11年度の法33条の6の請求件数及び承認件数は不明）

28条



33条の6



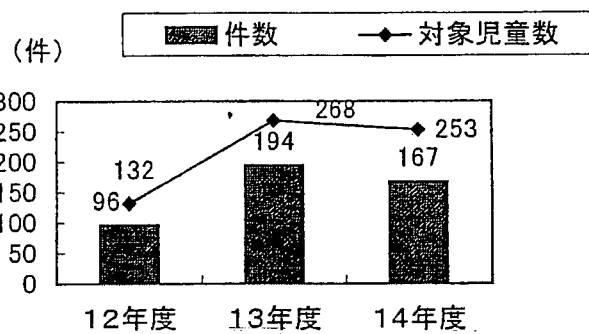
9、立入調査（29条・虐待防止法9条）の件数

児童福祉法第29条、虐待防止法9条による立入調査は平成14年度、全国は167件と前年度比べて若干減少している。東京都は平成14年度は13件と前年度より増加している。

8-1 全国の立入調査の件数

年度	件数
12年度	96件(132名)
13年度	194件(268名)
14年度	167件(253名)

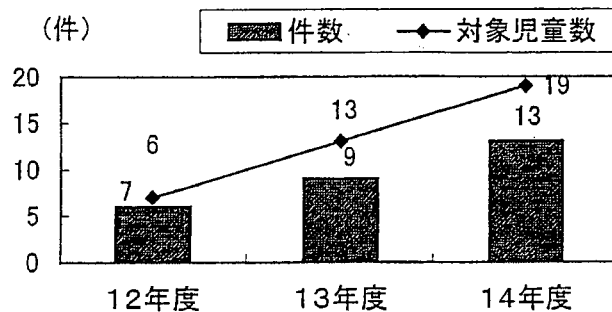
()は、対象児童数。



8-2 東京都の立入調査の件数

年度	件数
12年度	6件(7名)
13年度	9件(13名)
14年度	13件(19名)

()は、対象児童数。



10、虐待による死亡事例における児童相談所の関与の状況（全国のみ）

○ 平成14年度に児童相談所が関与した死亡事例は全国で5件あり、調査段階にあったものが2件、在宅指導中のものが1件、その他が2件あった。

平成12年度	平成13年度	平成14年度
11件	11件	5件

○平成14年度の概要

(1) 被害児童の年齢区分

年 齢	0歳	1歳	2歳	3歳
人 数	1	0	3	1

(2) 関与の状況

区 分	調査段階 A	在宅指導中 B	そ の 他 C
人 数	2	1	2

(3) 事件概要

発生月	概 要	関与の区分
10月	2歳の女儿が、母親（27）の内縁の夫（29）に暴行を受け死亡。	A
11月	2歳の女儿が、母親（29）に暴行を受け死亡。	B
11月	3歳の女儿が、養育里親の女性（43）に暴行を受け死亡。	C
11月	2歳の女儿が、義理の叔母（35）に暴行を受け死亡。	A
1月	10ヶ月の男児が、母親（19）に暴行を受け死亡。	C

※ 今回の公表内容は、平成14年度社会福祉行政業務報告の児童相談所における児童虐待相談処理件数に、雇用均等・児童家庭局総務課が調査した内容を加え報告するものである。